

(2019 年度分)

<p>団体名</p>	<p>有限会社 志縁塾 大阪支部</p>		
			
			

◆動機

- ・志縁塾 大阪支部 一次救命担当の中村は 42 年間の仕事で 2 回の労働災害に被災した。1 度目は機械に右手指 3 本を潰され身体障害者となり、51 歳の時に左手親指先端を切断する災害に被災した。この経験から“安全とは？”を研究開始し 労働災害、自然災害そして、救急救命を伝えることの大切さを感じ講師として広く伝える使命を果たそうと思った。
- ・災害心理学を学び、防災士の資格取得し、応急手当普及員になり AED・心肺蘇生の普及活動を中心に講師活動を始めた。

◆活動の実施方法

- ・一般公募で活動開始したが、中々人が集まらず、自信を失いかけた。
- ・大阪ライフサポート協会の PUSH コースを学んでから、先ずは人の心を動かせば自然に行動となることに気付き、PUSH コースを中心の講習に転換した。
- ・1 人一体の簡易心肺蘇生キッドで十分に練習し、よりリアルな助成訓練器等で体験することで達成感を感じてもらえた。

◆課題

- ・助成訓練器等は非常に有難いですが、一番の苦勞する開催場所の提供（マッチングなど）があれば助かります。